

名古屋大学多元数理科学研究科談話会

■ タイトル ■

On Explanatory Models in Linguistics

■ 講演者 ■

福井 直樹

(上智大学国際言語情報研究所)

■ 要 旨 ■

ヒトの言語とは、つまるところ、ある特定の形式的特性を持ったデジタルシステムであるが、それでは「なぜ」ヒト型言語は(他の特性ではなくて)そのような特性を示すのか。この問題に答えることが、Biolinguistics としての性格がますます強まっている現行の生成文法理論の目標である。この講演では、生成文法がここに至るまでの発展を、この理論が様々な関連諸科学との相互作用を通じてどのようにして生じたかという点と、提案されて以来いかなるダイナミズムに基づいて理論展開が為されてきたかという点に特に焦点を当てて説明したい。現在の理論が直面しているいくつかの問題を解くためにはどういった観点の導入が必要かということについても私見を述べてみたい。

■ 日 時 ■

2005年7月15日(金) 16:15 ~ 17:45

■ 会 場 ■

多元数理科学研究科 理1号館 509 講義室

■ 共 催 ■

名古屋大学 情報科学研究科・文学研究科

なお、談話会終了後、5階リフレッシュスペースにコーヒー、お茶と簡単なお菓子を用意します。

多元数理科学研究科では、研究科外との交流と数学内部での分野間の交流を推進しています。談話会は、研究科スタッフ、大学院生、研究生および学内、近隣の研究者に対して、このような交流の場を提供していくことを目標としています。

講演は、専門外の研究者や大学院生に話をするを主な目的とします。講演者には、その分野の全体像や問題の背景の解説に十分な時間をとってもらい、最後に講演者自身の研究成果を含めた最近の研究動向の様子に簡単に触れることができるようお願いしています。多くの方々の来聴を歓迎します。

Colloquium in Grad. School of Math., Nagoya Univ.

■ TITLE ■

On Explanatory Models in Linguistics

■ SPEAKER ■

Naoki Fukui

(Department of Linguistics, Sophia University)

■ ABSTRACT ■

In this talk, I will try to give a non-technical introduction to the theory of generative grammar. The goals of modern generative grammar, ever since its inception in the 1950s, have always been to provide an “explanatory” theory of human language, i.e., an explicit theory that explains why such and such properties (but not others) are exhibited by human language. This salient orientation of generative grammar has an important effect of linking the study of human language to various other fields. I will focus on the intellectual background of modern generative grammar, and will go through its development to the present, with a special emphasis on the fundamental driving forces that have prompted the particular paths it has taken. I will also make a few remarks on possible future research agenda.

■ DATE/TIME ■

July 15, 2005 (Fri)

16:15–17:45

■ PLACE ■

509 in Bldg. Sci. 1, Grad. Sch. of Math.

**Joint colloquium with Graduate School of Information Science
and Graduate School of Letters**

We invite you to enjoy refreshments with us at the lounge on the 5th floor after the colloquium.